

事業所名 森のいずみ こども発達センター

公表:令和7年3月1日

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		・ホール活動とお部屋活動に分けて過ごす時間を作ったことでスペースの混雑は減った。 ・活動内容に応じ、小グループに分かれての活動を行ったりして工夫している。 ・狭い。・小人数に分けて動くなどの工夫をしている。	・新館1階にホールができたことにより、身体活動や個別活動の幅が増えた。 ・作業療法士による個別的な訓練も更に増やしていきたい。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	3		・時々ギリギリで回す。 ・子一人一人の特性の組み合わせ次第で同じ職員数でも切迫度が大幅に変わることが課題としてあげられる。	・活動の工夫をしながら、子どもの安全を第一に職員間の連携を図っていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1			
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8				
	⑤ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8				
業務改善	⑥ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	4		・時間がなく振り返りのできない日も多いので時間の使い方(午後)を工夫していった方がいい。	・新年度に向けてタイムスケジュールを見直している。
	⑦ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2			
	⑧ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3			・ホームページに掲載。
	⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	1		
	⑩ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8				
適切な	⑪ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8				
	⑫ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3		まだ定着していない	・作業療法士、心理士による検査を今後取り入れていく。

支援の提供	⑬	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8				
	⑭	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8				
	⑮	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2		話し合いの場が時間がなく作れていないので固定の人に頼りきりになっている。	・チームで検討する機会をつくっていけるよう方法を模索していく。
	⑯	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6				
	⑰	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	8				
	⑱	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	3		時間のとれないこともあるが、職員間で伝達するなどして共有を計っている。	・伝達の漏れがないよう職員間での声掛けをしていく。
	⑲	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	5		日によって時間が確保できないため改善に努める	・午後のタイムスケジュールを県としている。
	⑳	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8				
	㉑	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8				
適切な支援の提供	㉒	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8				
	㉓	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1		ケースによって連携することはある	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6				
	㉕	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6				
	㉖	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8				
	㉗	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			引継ぎを行っている。	
	㉘	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携							

⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	4	機会を設けられていないため検討が必要	
---	---	---	---	---	--------------------	--

	③⑩	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	3			
	③⑪	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8				
	③⑫	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	3	2	個別指導の母子通所がある方に限定されるため、全体を検討する必要あり。	方法を検討する。
保護者への説明責任等	③⑬	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8				
	③⑭	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8				
	③⑮	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8				
	③⑯	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1		もりカフェを開催して保護者間の交流を深める。年に2回の行事。課題もあるので開催方法なども工夫の必要がある。	・開催方法を日時も含めて改善するべく検討中。
	③⑰	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				
	③⑱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8				・通信は毎月発行する。
	③⑲	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8				
	④①	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				
	④②	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	3	将来的には案内したいと思っている	・今後の検討課題とする。
	非常時等の対応	④③	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8			
④④		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8				
④⑤		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8				

④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	8				
④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		ヒヤリハット記入はある。指定のファイルに綴っているが、事例集としては作成していない。	
④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				・年に一度職員全員参加で研修を行っている。
④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8				・契約の際に重要事項説明の中で、必ず伝えるようにしている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。